

急変する米・農業政策への白石市の対応について

水落 孝子



〔質問〕政府は「農業基本政策の抜本改革について」を決定し、米の生産調整策、減反と転作を廃止するなど農業政策を大転換させ、2014年度から実施するとしている。そこで①農業政策の大転換②国民の主食を市場任せにする③地域経済への打撃④国土・環境の保全・維持についてどうお考えなのか伺う。

〔答弁〕【市長】農業は国策であり、いまだ正式な方針が示されない状況にあるので、①国から詳細な説明を受けてから、宮城県とも連携を図り、白石市として何ができるのか見定め、生産現場が混乱しないように努める。

②市場任せにすれば、米あまりが発生することが危惧される。③米農家の打撃につながる。④今まで同様に今後も環境保全・農地の維持に努める。

〔質問〕国から詳細な内容が示されていないので、答えることは難しいとのことだが、大筋言われていることから、予想される影響の確かな予測をすることが市長の責任ではないのか。

それで、その予測に基づいてそれが容認できるのか、あるいは容認できない場合はどうするのか、これをまず第一に考えることではないのか。

この減反政策は早速来年度から半額と言われている。詳細は示されていないかも知ることなので、農家の皆さんの中でどういうこ

とが予想されるのか尋ねる。

〔答弁〕【市長】農業は国策なので、それに沿うしかないと思っ

また今後、説明会の説明を聞いてから対応していく。手をとることに打つかはこれからのことだと思っ

〔質問〕国策の流れに身を任せるだけいいのか。市長は生産現場の声を調査されているのか。

〔答弁〕【市長】現時点では調査していない。

〔質問〕国からの説明待ちでは、議論は噛み合わない。詳細についての資料は取り寄せることができるし、それによって、この白石への影響を予測し、対策を考え、さらに生産現場の方たちを調査し、意見を聞きながら政策を練ることが市政を担う市長のやり方ではないかと私は考える。今後の方向として要望するしかないので要望させていただく。

企業の要望、提案への対応について

制野 敬一



〔質問〕現在、白石では、企業誘致と併せて進出企業に企業立地優遇制度を設け企業の後押しを行っていることは、企業の定着化と雇用の確保を図る上からも大変喜ばしい事であると思うが、白石蔵王地区企業連絡会から、交通アクセスの利便性やインフラ整備の問題など行政に対して様々な提案、要望などが出されている。行政が中心となり民間の力を借りなければ達成できない事もたくさんあるが、これらの諸問題の改善にぜひ取り組んで欲しいと思うので市長の見解を伺いたい。

〔答弁〕【市長】既存企業の諸問題に対して各

方面とタイアップできないかということだが、これまでも各企業からの要望について、関係機関に要望とお願いに行っているところである。

新幹線の停車本数の増便などは再三、お願いしているところである。

また、駐車場の増設については、現在市有地を含め検討中である。宿泊施設、住環境整備、ホテル・アパートについては、民間の方に働きかけるよう、今後も努めて参りたいと考えている。

これからも既存企業を訪問してどのように考えているか、市に対する要望、地域の問題などを聞き取りし、行政が窓口になってできるものは、関係機関と

一緒になって対応していきたい。

〔質問〕新幹線駅と在来線駅の交通アクセスを改善できないかとの要望もある。新幹線停車の時間帯に市民バスや民間のバス会社に協力をお願いして運行できないかと考えるが、市長の見解を伺う。

〔答弁〕【市長】その部分に関しては、とても大切だと思っているが、市民バスの始点が城下広場であり、新幹線に乗る人への利便性、また、新幹線から降りてくる人の利便性、地域の足として利用している人もあり、正直、悩むところである。見直しの時点では、なるべく配慮するよう心がけていく。